

2022年3月15日

《公益財団法人 ミズノスポーツ振興財団》
2022年度 事業計画のご報告

～スポーツの普及・振興のため約1億7千万円を助成～

公益財団法人ミズノスポーツ振興財団（会長 水野明人・ミズノ(株)社長）では、このほど行われた評議員会において2022年度の事業計画を決定しましたのでご報告申し上げます。

2022年度は、（公財）日本オリンピック委員会の第19回アジア競技大会(中国/杭州)等海外大会への選手団派遣事業、特別国民体育大会、国内開催の世界選手権大会への助成のほか、（公財）日本スポーツ協会や各競技団体、スポーツ学等研究に対して引き続き支援を行い、スポーツの普及・振興のため約1億7千万円の助成を行います。

これにより1970年の財団創立からの助成額累計は約83億円となります。

なお、助成先などの詳細は2ページ以降をご覧ください。

（公財）ミズノスポーツ振興財団について

創立 1970年9月1日創立

会長 水野明人（ミズノ社長）

（公財）ミズノスポーツ振興財団は、ミズノ(株)の創業者・水野利八の遺志により創立された《（財）ミズノスポーツ振興会 1970年9月1日創立》が、ミズノ(株)前会長・水野健次郎の意思により創立された《（財）ミズノ国際スポーツ交流財団 1977年2月9日創立》を吸収合併し、名称を変更したものです。

その後2011年4月1日には公益財団法人への移行を完了しました。

創立の目的は、「日本国のスポーツの振興に必要な事業を行い、もって国民の心身の健全な発達に資する」ことです。

現在、同財団の持株は4,377,710株で、この株式から生ずる収入がスポーツの振興に役立てられております。

（お問合せ先）

公益財団法人ミズノスポーツ振興財団事務局

内橋・澤井 TEL:03-3233-7009

ミズノ株式会社 コーポレーションコミュニケーション室

木水 TEL:03-3233-7037

(公財) ミズノスポーツ振興財団 2022年度事業計画

2022年度事業計画は以下の通りです。

I. 国民スポーツ・生涯スポーツの普及振興に対する助成		3,850万円
1. NPO法人 アオダモ資源育成の会	(100万円)	
2. NPO法人 全国ラジオ体操連盟	(100万円)	
3. (公財) 全日本ボウリング協会	(100万円)	
4. 特別国民体育大会	(400万円)	
(1) 冬季大会スケート・アイスホッケー競技会 (青森県)	《200万円》	
(2) 冬季大会スキー競技会 (岩手県)	《200万円》	
5. (公財) 日本スポーツ協会	(2,350万円)	
(1) 国体推進協力、日本スポーツ少年団全国 大会協力及び日本スポーツ協会情報提供	《800万円》	
(2) ブロック別総合体育大会 (ブロック国体)	《450万円》	
(3) 日本スポーツマスターズ2022 (岩手大会)	《200万円》	
(4) 総合型地域スポーツクラブ育成・活動推進	《500万円》	
(5) 「スポーツの日」中央記念行事	《100万円》	
(6) 生涯スポーツ・体力づくり全国会議2023 (静岡県 (予定))	《300万円》	
6. NPO法人 日本ティーボール協会	(100万円)	
7. (一財) 世界少年野球推進財団	(100万円)	
8. (公財) 日本パラスポーツ協会	(100万円)	
9. (公財) 日本スポーツクラブ協会	(150万円)	
10. (公財) 日本スポーツ仲裁機構	(150万円)	
11. (公社) 全日本アーチェリー連盟	(50万円)	
12. (一社) 全日本ノルディック・ウォーク連盟	(100万円)	
13. (公財) 日本スポーツ施設協会	(50万円)	
II. 地域スポーツの普及振興に対する助成		200万円
1. (公社) 全国スポーツ推進委員連合	(100万円)	
2. (公財) ベルマーク教育助成財団	(100万円)	
III. 学校・社会体育の振興に対する助成		400万円
1. (公財) 鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団	(100万円)	
2. (公財) 全国高等学校体育連盟	(100万円)	
3. (公社) 日本女子体育連盟	(100万円)	
4. (公財) 日本中学校体育連盟	(100万円)	
IV. 選手強化及び競技力向上に対する助成		2,500万円
1. (公社) 全日本アーチェリー連盟	(100万円)	
2. (一財) 全日本野球協会	(200万円)	
3. (公財) 全日本柔道連盟	(100万円)	
4. (公財) 全日本大学野球連盟	(150万円)	
5. (一社) 日本ボクシング連盟	(100万円)	
6. (公財) 日本学生野球協会	(100万円)	
7. (公財) 日本高等学校野球連盟	(100万円)	
8. (公財) 日本ゴルフ協会	(200万円)	
9. (公財) 日本スケート連盟	(100万円)	
10. (公財) 日本ソフトボール協会	(100万円)	
11. (一社) 全日本テコンドー協会	(50万円)	
12. (公社) 日本トライアスロン連合	(100万円)	
13. (公財) 日本バスケットボール協会	(100万円)	
14. (公財) 日本バレーボール協会	(100万円)	
15. (公財) 日本ハンドボール協会	(100万円)	

16. (公社) 日本ホッケー協会	(100万円)	
17. (公財) 日本野球連盟	(100万円)	
18. (公財) 日本ラグビーフットボール協会	(100万円)	
19. (公社) 日本ウエイトリフティング協会	(100万円)	
20. (一社) 日本クレイ射撃協会	(50万円)	
21. (公財) 日本アイスホッケー連盟	(50万円)	
22. (公財) 日本アンチ・ドーピング機構	(100万円)	
23. (公社) 日本近代五種協会	(100万円)	
24. (公社) 日本馬術連盟	(100万円)	
V. ジュニア育成に対する助成		2,050万円
1. (公財) 日本ソフトテニス連盟	(100万円)	
2. (公財) 日本ゴルフ協会	(200万円)	
3. (公財) 日本ラグビーフットボール協会	(100万円)	
4. (公財) 全日本空手道連盟	(150万円)	
5. (公財) 日本テニス協会	(100万円)	
6. (公財) 全日本軟式野球連盟	(100万円)	
7. (公社) 日本ライフル射撃協会	(100万円)	
8. (公財) 日本レスリング協会	(200万円)	
9. (一社) 日本バイアスロン連盟	(100万円)	
10. (公財) 日本バドミントン協会	(100万円)	
11. (公財) 全日本スキー連盟	(100万円)	
12. NPO法人 ソフトボール・ドリーム	(50万円)	
13. (一財) 日本ドッジボール協会	(50万円)	
14. (公財) 日本サッカー協会	(200万円)	
15. (公社) 日本スカッシュ協会	(100万円)	
16. (一社) 日本クレイ射撃協会	(50万円)	
17. (公財) 日本アイスホッケー連盟	(50万円)	
18. (公財) 日本体操協会	(200万円)	
VI. 国内開催世界選手権大会等への助成		700万円
1. FISジャンプワールドカップ2023札幌大会	(100万円)	
2. FIS女子ジャンプワールドカップ2023札幌大会	(100万円)	
3. FISスキージャンプワールドカップウィメン2023蔵王大会	(100万円)	
4. スズキワールドカップ2022第33回世界エアロビック選手権大会 (東京都)	(100万円)	
5. 2022世界トライアスロンシリーズ横浜大会	(100万円)	
6. 2022/21 ISUワールドカップスピードスケート競技会 (北海道)	(200万円)	
VII. オリンピックムーブメント昂揚に対する助成		4,440万円
1. 国際オリンピック委員会	《 \$ 4万》	(440万円)
2. NPO法人 日本オリンピックズ協会		(100万円)
3. NPO法人 日本オリンピック・アカデミー		(100万円)
4. (公財) 日本オリンピック委員会		(3,800万円)
(1) 第19回アジア競技大会(中国/杭州)選手団派遣	《1,800万円》	
(2) FISUワールドユニバーシティゲームズ (中国/成都)選手団派遣	《700万円》	
(3) FISU冬季ワールドユニバーシティゲームズ (アメリカ/レイク・プラシッド市)選手団派遣	《700万円》	
(4) 第3回アジアユースゲームズ (中国/シャントウ)選手団派遣	《600万円》	
VIII. スポーツに関する科学的・学術的・医学的研究に対する助成		1,850万円
1. (独法) 日本スポーツ振興センター 国立スポーツ科学センター	(100万円)	
2. (公財) 日本水泳連盟	(200万円)	

3. (公財) 日本陸上競技連盟	(200万円)
4. (公社) 日本ウエイトリフティング協会	(50万円)
5. (公財) 全日本スキー連盟	(100万円)
6. (公財) 日本卓球協会	(100万円)
7. (公社) 日本ボート協会	(100万円)
8. スポーツ学等研究助成 (10件)	(1,000万円)
IX. ミズノスポーツメントール賞表彰	900万円
X. ミズノスポーツライター賞表彰	200万円
【助成金合計】	<u>17,090万円</u>
XI. ミズノスポーツ振興財団資料館メンテナンス	100万円